

パーマネント  
コース情報

# 整備充分！魅力の箱根！

大高竜亮

「箱根・湖尻高原」コース



1972年の閏日に、全国で18番目のコースとして誕生した箱根・湖尻高原コース。箱根高原ホテルが設置し、その後も今に至るまで40年以上にもわたって草刈りやポストの補修といった管理を続けてくれているお蔭で、現役のコースとして十分楽しめます。高原ホテルでも自然体験学習に箱根寄木体験づくりなどとともパーマネントコースを紹介するほど、活用促進に取り組みされているようです。

「箱根・湖尻高原」コース 神奈川県  
JOA公認 No.18 7km 10ポスト

## 黎明期からのパーマネントコース

我が家がPC巡りを開始した1978年に、修学旅行で偶然このホテルに宿泊した兄が入手した当時の地図が手元に残っています。1:25,000が主流だった当時、このコースは1:13,000というユニークな縮尺。記載されている道も今の地図よりも大雑把で、黎明期のオリエンティアにとって悩ましいルートチョイスになったことでしょう。

私の初挑戦は1991年10月。すでにO-MAPへの変更を5年前に果たしている時期で、晩秋の林の中を1時間20分ほどでスイスイと快適に巡ったことを覚えています。その後、エリアが重複するレイクアリーナ箱根コースが誕生。

今も使用可能な3kmコース（全5ポストのうち現在使用不可の10kmコースとの共用は2ヶ所）は未踏破のままだったのでひと回りしたのち、湖尻高原コースを再訪しました。

現地までは小田原駅や箱根湯本駅から湖尻・桃源台行の箱根登山バスが頻発しています。レイクアリーナ箱根へは南温泉荘で下車、高原ホテルへは白百合台が最寄り、2つのバス停は徒歩圏内です。

高原ホテルの駐車場にあった案内板は今も残っていたものの、すでに活用はされておらずマスターも読めません。すべてはフロントでの対応となります。2010年に改訂されたマップは1部100円。マスターも用意されていて、対応は円滑そのものです。



スタート地点の箱根高原ホテル

## 一筋縄ではいかない設定

コースが設置されているのは台ヶ岳山麓の緩やかな片斜面。高原らしい林間ルートを散策気分で歩けます。ただし、ポスト位置が巧みに考えられていて、一筋縄にはいかないのが面白いところ。地図上でも道の記載のない区間が存在します。コース自体は91年当時とほぼ変更ありません。1番と10番ポストがわずかに移設されている程度です。

その1番は自然学習歩道と名づけられた一帯にある広場の東の縁に立っています。ポストは修繕されてピカピカ。以前のポストの頭の上に新しい頭を被せて更新されています。黒文字の記号は旧ポストを継承しつつ、新たに「箱根高原ホテル」の表示が追加されました。レイクアリーナ箱根コースのポストは支柱の茶色いFRP製であり、容易に見分けが可能で

2番は道が通じていません。林の中をコンパスワークで狙いを定めて進みます。PCとはいえ、こういう設定がわずかでもあると緊張感が生まれて興味が倍増します。ホテル利用者の自然体験学習としては難度が高い気もしますが…。

3番へは地図に「乾いたみぞ」の記載があるのみで道がありません。しかし、実際は小径が通じていますのでご安心を。沢に従って進んでいくと、自ずとポストに導いてくれます。

箱根の各所に点在する金太郎伝説ゆかりのスポットの1つが4番ポスト手前にある金太郎岩。金太郎が金時山から投げたといわれる巨岩です。何もなければ気に留めることもなさそうな岩ですが、こうした物語が与えられることで地域の魅力がアップします。3番からややきつめの坂道を極めるとレイクアリーナコースのポストが設置されている金太郎岩展望台に到達。芦ノ湖の眺望で一息入れてから下っていくと、ほどなく金太郎岩、そして4番ポストが待っています。

再び登りとなり、分岐を南に折り返

すとコースは遊歩道を離れてやや草深い小径に入ります。5番ポストはこの道の途中。前回の地図では道の記載が途切れた先の地点で、最新の地図でも不明瞭な道の表記になっています。

この先、箱根ロープウェイの索条の下を通過します。この時はまだ火山ガスの影響による運休が続いていて、ゴンドラの姿は1基もありません(2015年10月30日より桃源台駅～姥子駅間、2016年4月24日より姥子駅～大涌谷駅間運行再開)。姥子駅と大涌谷を結ぶ歩道も立ち入りが規制されていました。今、大涌谷駅までは行くことは可能でも駅の外に出ることは依然禁止されています。そのため、姥子駅は大涌谷の眺望を楽しめる場所へのアクセス駅として、運行再開後には多くの観光客が訪れています。駅前には歴代のゴンドラが展示されていて、ロープウェイの歴史を学べます。道の北側にあるテラスに6番は設置されています。



姥子駅前にある歴代のゴンドラ

石畳の道を下ると、レイクアリーナ箱根に差し掛かります。茶色に縁どられた案内板の前を通過し、駐車場前の分岐を南に折れていきます。小道の行き止まりにある7番は道端に素直に設置されています。

次の8番は最短ルートを狙おうと焦ると失敗します。地図を良く見てルートを堅実に選択します。

ロープウェイは運休していても桃源台駅まで下ってくると、ポツポツと観光客の姿も見られます。芦ノ湖観光では人気の海賊船も平常通り運航していました。とはいえ通常と比較すると周辺はずっと落ち着いた雰囲気。数年前に金時山登山と箱根神社参拝を兼ねて箱根を訪れた時の賑わいとはだいぶ異なっています。駅の南側を回り込み、芦ノ湖畔の散策道を進むと9番が見えてきます。



芦ノ湖畔の9番ポスト

湖畔を離れ、高原ホテルの裏までやってくると10番はもうすぐ。以前は道から離れた林の中に設置されていたが、現在は小道をたどることで導いてくれます。周囲は放置すると雑草の繁茂が激しくなるようで、整備の際に刈り込みを行ってくださっている様子が高原ホテルのブログで報告されていました。道まで引き返すと、ほどなくゴールです。

## 元気な箱根に

箱根山の噴火警戒の報道や火山ガスによる立入禁止区域の拡大、ロープウェイの運休という事態に見舞われ、コースを歩いた昨年は観光客離れが深刻な状態に陥った箱根。今では噴火警戒レベルも最大の3から1まで引き下げられ、名物の黒たまごの販売も再開されるなど、明るい話題が開かれるようになってきました。それに伴い、ゴールデンウィークは桃源台駅に観光客が押し寄せる姿もニュースで伝えられています。

大涌谷駅～早雲山駅間のロープウェイはいまだ運休が続いているなど、大涌谷周辺ではまだまだ噴火の懸念が続いています。最新の情報を事前に確認したうえで、箱根の涼風を感じに訪れてみませんか。何度訪れても箱根は魅力的です。

(2015年10月10日 踏破)  
(大高竜亮)